

大和川中学校の取り組み

大阪市立大和川中学校
特別支援学級担当 山藤 里奈

大和川中学校について

- ▶ 大和川中学校に在籍している生徒 ⇒ 287名
- ▶ 特別支援学級に在籍している1年生 ⇒ 10名
- ▶ 特別支援学級に在籍している2年生 ⇒ 3名
- ▶ 特別支援学級に在籍している3年生 ⇒ 14名
- ▶ 特別支援学級に在籍している生徒 ⇒ 27名

大和川中学校の取り組みの紹介

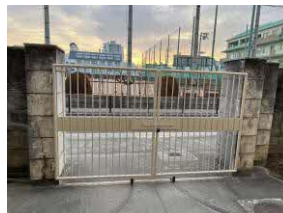
Ⅰ 安心できる空間作り

(1) 特別支援学級で使える教室を3つ用意

- 教室①：抽出の授業用
- 教室②：集団が苦手な生徒用
- 教室③：気持ちを落ち着かせたい生徒用

(2) 正門以外の門の利用

特別支援教室への登下校がしやすいように裏門や小さな門を使っている



2 ICT活用

- (1) AIドリル (navima)の活用
- (2) リモート授業

教室に入れない生徒のために、教室に入る準備段階として、1人1台の端末を使ってリモート授業を受けられるようにしている。



3 充実した学習の場作り

(1) 実技科目の授業

教科教員と連携して、特別支援学級教員だけでは教えられない専門的な知識やノウハウを活用して授業を行っている。

(2) 畑作業

畑づくり：機械や道具を使って、一から畑を耕す。



野菜収穫：毎日の水あげや雑草抜きを通して、愛着を持って野菜を育てる。



調理実習：自分たちで育てた野菜を調理する。



最後に

〈成果〉

これらの取り組みの中で、達成感を感じたり、他の生徒とコミュニケーションを取れるようになったりすることで、学校が楽しいと思える生徒が増え、登校時間や登校日数が増えた。これらの取り組みは、不登校生徒にも効果的だった。

〈今後の課題〉

本校の特別支援学級から特別支援学校や高等支援学校へ進学する生徒は少なく、多くの生徒が高等専修学校や高等学校に進学する。

このことを考えると、登校時間や登校日数を増やすことができた生徒の学びの保障を充実させていかなければならない。

ご清聴ありがとうございました！